

【総務委員会】

委員長 池田 佳正

所 信

(社)丹波青年会議所は、創立以来40年の永きにわたり「奉仕・修練・友情」三つの信条を礎として「明るい豊かなまちづくり」の実現を目指して、脈々と組織を引き継いで参りました。

先輩諸兄が築き、時代時代の大波を乗り切り次の世代に受け継いでこられた伝統と重みをしっかりと受け止め、これからも地域のために与えられた使命を自覚し行動していかなければなりません。

また、何事も変わらない、変えてはならないものがある一方で、変えるべきものもあると思います。地域や各諸団体に対する発信は、その時々合った情勢を捉え考えなければ想いは伝わりません。そして、ここでの繋がりを最大限に活かすことが、更なる可能性を広げていくものと考えます。

私が大切にしている言葉に「因縁生起」という言葉があります。全ての理は「因」と「縁」によって成り立っているという教えです。花が咲くということは、種がなければ咲きません。種は花が咲く「因」になります。また、種のみでは花が咲きません。根をはる土が必要です。土には肥料などの養分が必要です。このように花が咲くための間接的な原因を「縁」といいます。あらゆる条件が整ってようやく結果として花が咲くのです。

私たちの「いのち」もこれと同じことです。親がいてくれたからこそ、私がこの世に生まれ出ることができたのです。親の親、そのまた親、ご先祖、学校、会社、知っている人も知らない人も、多くの方々の育てがあって、ありとあらゆる自然にささえられて、いまここに生かされて生きているのです。この言葉はJC活動にも多く通じる所があると感じます。自分自身が廻りの人に助けられ、支えられその中で生きていることに今一度感謝し、感謝を知るということで魂を磨き、学び気づきを頂いたことにまた感謝しましょう。

本年度、総務委員会では各委員会、事務局、役員の皆様の橋渡しとしてスムーズな組織運営を目指し、時には根をはる土のように重要な役割を担う裏方として、時には明るく眩しい太陽のようにLOM全体を照らし、時には表舞台に立って、藤の田んぼに色鮮やかな大輪の花を咲かせます。開かれた会議運営、広報活動を通じ丹波青年会議所メンバーが活動しやすい環境を整えていくことが「明るい豊かな社会」の実現への一歩と考え、活動していきます。

基本方針

- 一、繋がりを活かし、地域を活かし、メンバーを生かし、自分を生かします。
- 一、地域内外へ積極的に情報発信を行い、メンバーが活動しやすい環境の拡大をサポートします。
- 一、開かれた丹波青年会議所の会運営に向けて邁進します。

事業計画

- 1. 3 J C 合同例会
- 2. 5月例会
- 3. 総会の運営
- 4. 総合資料の作成
- 5. 名簿・名刺の作成
- 6. 各種褒賞・表彰
- 7. 例会等への出席奨励並びに出席補填
- 8. ホームページの管理
- 9. 記念写真の撮影・管理
- 10. 一般庶務会計
- 11. 会員拡大の絶対推進
- 12. 復興支援活動への協力
- 13. 一般社団法人申請及び準備・協力
- 14. 行政や各諸団体との連携・協力・交流
- 15. 各委員会との連携及び支援
- 16. 理事長諮問に関する事項